



今、できることは！

新年を迎えたと思ったら、あっという間に1ヶ月が過ぎようとしています。

3年生は、3学期になってから私立高校の入試と発表が毎日のようにあり、まさに受験シーズンの真っ只中にあります。20日(金)、23日(月)には中学校最後の期末テストも実施されました。この後、今週実施される県立高校Ⅰ期選抜、3月のⅡ期選抜と続くこととなります。全員が目標を達成し、義務教育9カ年の「有終の美」を飾るよう願っています。中学校生活も残り1ヶ月半となりましたが、今できることを精一杯頑張りたいと思います。

1, 2年生にとっては、学年のまとめをして進級に備える時期となりました。何よりも大切なことは、現学年の学習内容を確実に自分のものにしておくことです。今まで以上に学習や部活動に頑張ることができる、頼もしい上級生になってほしいと思います。



修学旅行の準備が始まりました！

2学年

2学年は、新年度に入っすぐ修学旅行が実施されます。そのための準備や事前指導が本格的に始まりました。



鎌倉や横浜、東京都内での活動となりますが、班別研修では事前の計画が重要となってきます。班ごとにコースや施設について調べるなど、知恵を出し合いながら楽しく活動しています。中学校生活の中でも、一番大きな行事であり、たくさんのことを学び、そしてたくさんの楽しい思い出を作れるよう準備してほしいと思います。

《二中学生の活躍》

- 県南学校春季柔道大会
中学校男子団体 優勝
- 福島県中学生柔道錬成大会
優秀選手賞 大河原 涼
- 岩瀬支部中学生バレーボール冬季大会
3位
- 県中ジュニアバドミントン大会
男子ダブルス ブロック2位 板谷 尊・鈴木一徳
女子シングル ブロック1位 菅原 藍
女子シングル ブロック1位 上田 彩乃
女子シングル ブロック1位 角田陽真里
女子シングル ブロック2位 矢吹 美空
- 新春書道展席書大会
市議会議長賞 大山奈々花(1年)
岩瀬書芸連盟会長賞 橋本 優希(3年)
市文化団体連絡協議会長賞 野中 美月(1年)



生徒会・児童会交流会を実施！

13日(金)の午後3時から、須賀川二小において小中一貫事業「生徒会・児童会交流会」を開催しました。初めての試みでしたが、生徒・児童の自由な発想からさまざまなアイデアが発表され、充実した交流会となりました。



※出された主な意見

- 小学校同士での交流
- 部活動や学習面での交流
- ボランティア活動、エコキャップ活動での交流
- 中学校の活動(あいさつ運動・ACEプロジェクトの取り組み)



今後も、積極的に交流活動を図っていききたいと思います。

「中学校生活を聞く会」を実施！

20日（金）の午後に、小中一貫教育に関わる「中学校生活を聞く会」を実施しました。本校から、生徒会役員と生徒指導担当が、小学校3校（須賀川二小、阿武隈小、柏城小）に向き、中学校生活についての話を各校の6年生を対象に話してきました。

各校とも、真剣な態度で話を聞き、質問なども多く出されました。中学校生活への希望を胸に入学を迎えてほしいと思います。



★雑学です！（初詣から）

新しい年を迎え、正月には神社に行き初詣をした人は、多いと思います。日本人の生活の中には、さまざまな宗教習慣が浸透していて、その中でも神道は日本独特のものであります。神社にお参りするときに、手を打つのはどんな意味があるのでしょうか。

これは、自分が素手であること、何の下心もないことを神様に証明するためのものなのです。

一般的には「2礼、2拍手、一礼」と言われるように、2回礼をして2回手を打ち、その間にお祈り事をし、1礼をする方法です。例外もあり、伊勢神宮では4回礼をして4回手を打ち、最後にもう1度4回手を打つやり方があります。



☆☆☆ ころころの窓 ☆☆☆

世の中が便利になり、さまざまな情報がすぐに手に入るようになりました。そのためか、人はすぐに結果を求めたがる傾向が強くなったような気がします。努力したり、我慢したりしての結果であればいいのですが、安易に結果だけを求めていると、いざというときの困難に打ち勝つことが難しくなります。心の持ち方を考えていきたいものです。

機関誌「PHP」からの一篇を紹介いたします。

忍耐の徳

何事においても辛抱強さというものが大事だが、近頃はどうもこの忍耐の美徳というものがおろそかにされがちで、ちょっとした困難にもすぐに参って悲鳴をあげがちである。そして、事志とちがった時には、それをこらえてさらに精進し、さらに力を蓄えるという気迫がまるで乏しくなり、そのことの責任はすべて他にありとして、もっぱら人をののしり、社会を責める。

これは例えば、商売で品物が売れないのは、すべて世間が悪いからだと言うのと同じことで、これでは世間は誰も相手にしてくれないであろう。買うに足る品物であり、買って気持ちのよいサービスでなければ、人は誰も買わないのである。

だから売れなければまず自らを反省し、じっと辛抱をしてさらに精進を続け、人々に喜んで買っていただけるだけの實力というものを、養わなければならないのである。

車の心棒が弱ければ、すぐに折れてガタガタになる。人間も辛抱がなければ、すぐに悲鳴をあげてグラグラになる。

お互いに忍耐を一つの美徳として、辛抱強い働きを続けていきたいものである。